

熊本県視覚障がい者福祉協会・団体 平成29年度 事業実績報告書

1. 同行援護従業者養成研修事業

今年度は9月と2月に2回開催し、32時間の講義を5日間実施した。講師は前回同様、伊東良輔氏に依頼した。会場は熊本県身体障がい者福祉センターを中心とし、希望荘別館を借用した。また実技において、電車への乗降では熊本市交通局、エスカレーターの乗降や購入実習では、イオン熊本中央店にご協力いただいた。研修1回目では、一般課程11名・応用課程8名、研修2回目では、一般課程19名・応用課程11名が受講し無事修了された。

2. 歩行訓練指導等事業

(1) 受講数 34名

(2) 訓練回数 189回

受講者数は目標の20名を大きく上回り、歩行訓練を必要としている方が多いことがうかがえる。その反面、訓練士が1名しかいないため訓練の受講申し込みをいただいても待っていただくことが多かった。待機者数が最大月で6名になり、待機期間が1年間になった人もいた。訓練を受けたいと思えるまで期間がかかった人は待機期間が長いとまた家に閉じこもってしまう状態に戻ってしまうので、できる限り訓練を初めて受ける人や緊急性が高い人などを優先して対応した。

(3) 研修会・会議等

訓練士の専門的な知識や技術の習得などキャリアアップのための研修会等に以下のとおり参加した。

- ・視覚障害リハビリテーション協会川崎大会（6/9～6/11）
- ・日本歩行訓練士会（12/2～12/3）
- ・九州歩行訓練士会（5/7）
- ・九州ロービジョンフォーラム（5/6）
- ・視覚障害者に対するリハビリテーション研究会（11/16～11/17）

3. 団体連絡助成等事業（別紙報告書のとおり）